



心ひとつに

美郷中学校
 学校報 NO.50
 R4. 1. 26

天筆づくり

20日(木) 5・6時間目、1年生が体育館で天筆づくりに取り組みました。

事前に紙を貼って作っていた天筆用紙に、書き方に従って決まりの文字を書き、その中に、個人の願い事を書き込みました。

六郷小学校出身の生徒は、小学校の時に何度も書いた経験があるとのことだったので、「書いた願い事は叶ったの?」と聞いてみたところ、「叶いましたよ! え〜と、学業成就と身体健康! 成績はいつも上位で、小学校の時は皆勤賞でした!」と答えてくれました。いいことを聞きました!

天筆焼きで空高く昇っていく願いが叶うよう、これからも、しっかりと努力していきましょう。



【願いが天まで届きますように!】

3年生を激励する会

21日(金) 午後、1・2年生が中心となって、3年生を激励する会を行いました。「3年生に対して、学校を引っ張ってきてくれたことへの感謝と、受検に臨むにあたっての激励の気持ちを伝える」ことが目的です。

恩師の先生方や3年部の先生方からのビデオメッセージを見たり、中学校3年間の映像で振り返ったりと、3年生にとっては、昔を思い出したり笑ったりしながら、心休まる時間となりました。その後、1・2年生が作成した「合格祈願のリース」と、奏令学年のネーム入りボールペンを3年生にプレゼントし、くす玉を割って感謝の気持ちを伝えました。

その後、1・2年生から応援エールを送り、会が終了…と思ったら、3年生から「ちょっと待った〜!」でエールのお返し! さすが、3年生です。

閉会のあいさつでは荒田航太郎さんが「3年生は私たちに指示をし、助けてくれる頼りになる存在でした。私たちは3年生のおかげで成長できました。また、私たちは3年生が努力する姿を見ることができました。いつもどおりの力を出せば大丈夫です。全校で応援しています。」と感謝と激励の言葉を述べてくれました。3年生の皆さんを心から応援し

ている後輩たち、先生たち、保護者の皆さん、そして、地域の皆さん。とても心強い存在です。さらに皆さんには、支え合う同期の仲間もたくさんいます。うらやましいことです。是非、心強さを感じながら、受検に向かい合いきましょう!



【3年部職員から 【くす玉：令和の未来に
 メッセージ】 希望を奏でろ】

3年生としての自覚 保護者としての思い

3年生の学年報「奏令」No. 42号を読んで、「さすが3年生!」「立派な保護者の方だな!」と感動し、皆さんにお知らせしたく、一部を紹介します。「ノー電子メディアチャレンジデー」の振り返りカードに書かれた保護者の方の感想です。

- ・11月に入り、家庭ではテレビはほとんど見なくなりました。毎日机に向かい、勉強をする姿しか見なくなり、こんなにも変わるんだな…と感心しております。
- ・受検生としての自覚が出てきたのか、自分からスマホとゲームをやめ、その分の時間は勉強するようになったことはすごいことだと思います。前回とは比べものにならないくらい変わってくれたと思います。
- ・携帯を与えておきながら日々依存していく子と戦い、負ける毎日でした。今は、携帯もタブレットも一切ない中、普通に会話し、過ごしています。これが普通の姿だと思っています。取り上げる権利はこちらにあります。責任もこちらにあります。機嫌をとるのではなく、本当の笑顔を取り戻したいと思いました。

これを読んだ皆さんは、どんなことを感じたでしょうか?

明日は前期選抜

明日27日(木)は前期選抜学力検査等実施日です。県南で急拡大しているオミクロン株に負けないで、全員が受検できることを願っています。

3年生を激励する会を思い出したり、同期の仲間や後輩の皆さん、家族の励ましを思い出したりしながら、平常心でがんばってきてください!